



自分たちでつくり上げた自分たちの運動会

運動会では、たくさんの応援ありがとうございました。子供たちは8月27日から本当に毎日33日間、1日も欠かさず運動会のことを考えて活動してきました。応援では音楽やダンス、動き一つにしても団で一生懸命考えました。「これやりたい!」という気持ちと「それじゃなくてこっちがいい!」という気持ちで何回もぶつかりました。それでも何とか全体の応援練習に間に合い、「じゃあ下級生に教えるぞ!」となってやってみようと思っても、全然うまくいかず落ち込んでいる子供たち。「何がうまくいかなかったのか」「次はどうしたらいいのか」自分たちで反省会をして考えていきました。すると、回を重ねるごとに本当にドラマのように子供たちの指示も表情もとてもよくなりました。本番ではたった3分弱の短い時間ですが、ここまでたどり着くのにとてもたくさんの努力をしてきました。子供たちの著しい成長は、おうちの方も感じておられるのではないのでしょうか。この感動を子供たちと共有できて私もとてもうれしかったです。子供たちの「自分たちでつくり上げた」という高鳴る気持ちを、これからの生活でも生かしていきたいです。

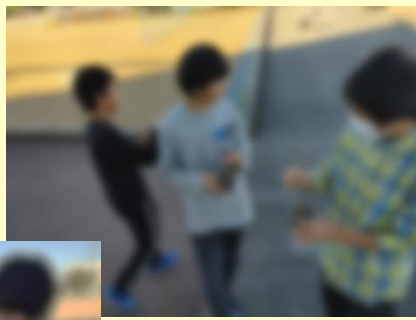
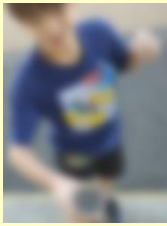
私は、ダンスのときに手を伸ばすところや声を出すことなどが恥ずかしくて全然できませんでした。でも、応援優勝を取りたいという気持ちや下級生のお手本になるという気持ちでがんばりました。下級生に教えるのはとても難しかったけれど、一致団結して6年生みんなで教えました。結果は、応援優勝は取れなかったけれど、みんながまとまってできたのでよかったです。団体競技では、練習では一回も勝ったことがない綱引きが、声を掛け合うことで4勝し、1位にまでなれてうれしかったです。思い出に残る運動会になりました。

僕は団長として、運動会の前に「みんなに優しく接したり励ましたりする」という目標をたてました。運動会の練習や本番では、この目標を達成できるようにがんばりました。応援では、全校でする前にリハーサルをして誰が話すか決めたり、スローガンを紙に書いて見せるなどの工夫をしたりしました。ダンスの振り付けも1から団のみんなと考えました。本番では、応援は練習以上の力を出し切れたと思います。そのあとの競技も負けっぱなしだったけれど、団のみんなが最後まで一生懸命あきらめないでできるように6年生が上手にみんなを励ましていました。赤団全員で粘り強く運動会をやり切れたと思います。

僕は、最初スローガンや三三七拍子を団のみんなが覚えてくれるかなと思ったけれど先生や六年生と一緒に下学年の人に教えてくれたので、僕も団長としてもっと積極的に下学年に教えていきたいと思いました。また、画用紙にスローガンと三三七拍子を書いたりダンスを練習するときに2つのチームに分けて練習したりと工夫しました。本番では応援優勝は取れなかったけれど、一番いい応援になりました。一か月間大変だったけれど、がんばってよかったです。



ペットボトルで地層をつくろう（理科の実験）



どろ

砂

れき



理科の地層の学習で、自分で地層をつくってみました。ペットボトルに、「れき」「砂」「どろ」をかき混ぜて入れました。時間が経つにつれてどんどん種類ごとに層になっていく様子を見て、地層がどのようにできるのか実験を通して理解することができました。

学習発表に向けて

小道具づくり



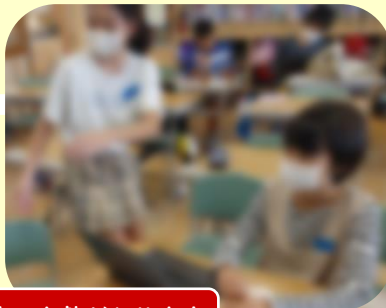
大きな背景！



演出の音楽を決めています



脚本にも熱が入ります



衣装だって手作りです



5人以上も入る大きな船！



「学習発表は、卒業式以外に、みんなで何か一つのもをつくり上げる最後の活動だよ。」と最初に子供たちに伝えました。子供たちは社会科の歴史が好きなのですぐに「源平合戦」に決まりました。そして、そのために必要なものを考え、脚本・演出・衣装・背景・大道具・小道具を自分たちでやると決めました。出来上がった台本を見て「脚本の人すごい！」とつぶやいた子。大道具の船を見て、「でっかい！」と喜ぶ子。衣装の甲冑を着てテンションの上がる子。小道具が作った剣で動いてみる子。演出の音楽を聞いて笑顔になる子。背景を見て「うますぎる！」と感嘆の声が出る子。お互いを認め合いながら、子供たちだけでがんばって準備しています。つたない部分もあると思いますが、「一生懸命」をテーマに取り組んでいるので、当日は、あたたかい目で見守ってあげてください。よろしくお願いします。